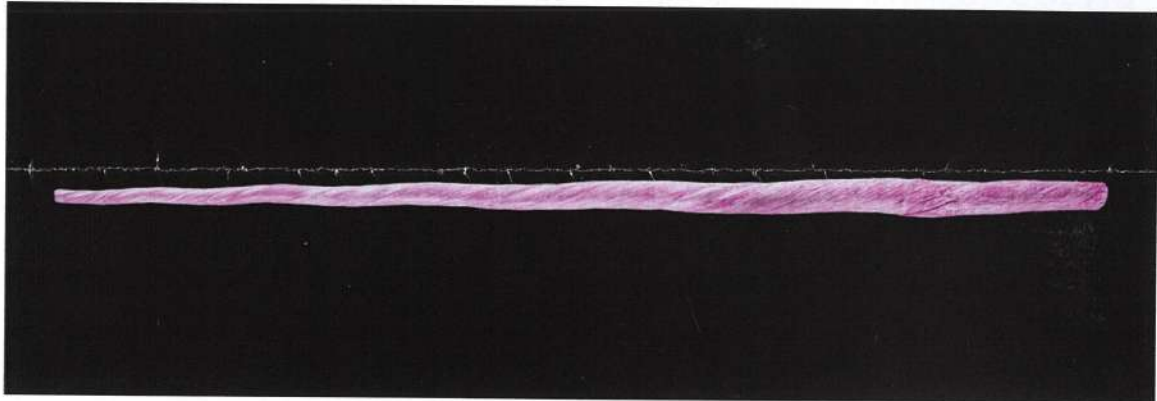




北方民族博物館だより

No.141



HA186 イッカクの^{きば}の牙 エスキモー／グリーンランド
長さ196 cm 1990年収集 撮影：城野誠治

イッカク (*Monodon monoceros*) の牙。イッカクは北極海を中心とした高緯度海域に生息する比較的小型のクジラである。角のようにみえる部分は実は牙であり、左右共に生える。ただし、右側の牙は小さく埋もれており、左側の牙だけが皮膚を突き破って左巻きに伸びてくる。牙が伸びるのは基本的にオスで、最長3メートル程度まで成長する。ごくまれに左右両方の牙が伸びる個体もいるが、この場合、牙はどちらも左巻きである。

現在、イッカクはワシントン条約で保護されているため、博物館展示や研究用途を除いて牙の入手は困難だが、かつてはイッカクの牙を使った工芸品が日本にも輸入されていた。グリーンランドやカナダでは現在でも先住民に限って個体数を管理した上での捕獲が認められており、グリーンランドの場合、年間500頭前後が捕獲されている。イッカクの皮は「マッタ」と呼ばれ食用に珍重されるほか、肉やレバーも食される。

目次 Contents

- 1 表紙 イッカクの牙
- 2 講座「北海道の骨角器」
／講習会「ひも織り」
- 3 館長講座「オホーツク海沿岸諸民族の交流 PART2」
／講座「オホーツク文化の金の刀」
- 4 INFORMATION



第41回特別展「海獣が支える極北の暮らし」

ーカヤックからアクセサリーまで」

北方地域、特に樹木がほとんど育たないツンドラを中心とした高緯度地方においては、かつて生活に必要なあらゆる物をアザラシやセイウチなどの海棲哺乳類から作っていました。食糧から衣服、狩猟道具やカヤック、アクセサリーに至るまで、海棲哺乳類の皮や骨、牙などで作られた様々な資料と、海棲哺乳類がモチーフになった壁掛けなどの工芸品を紹介します。

会期：令和8年（2026年）7月18日（土）～10月18日（日）

会期中の休館日：10月5日（月）、13日（火）

会場：北海道立北方民族博物館・特別展示室

観覧料：一般450円、65歳以上
300円、高大生200円

（常設展とのセット 一般800円、
65歳以上300円、高大生320円、
7月～8月は高校生のみ200円）



ホッキョクグマとワモンアザラシの毛皮製ズボン

関連事業：

特別展解説講座

日時：2026年7月18日（土）10:00～11:30

解説：日下 稜（当館学芸員）

特別展関連講演会「オホーツク海におけるアザラシ猟と、 極北の暮らしに不可欠な海棲哺乳類の生態」

日時：2026年7月26日（日）10:00～11:30

講師：内藤靖彦氏（国立極地研究所名誉教授）

三谷曜子氏（京都大学野生動物研究センター教授）

上映会「北方民族博物館シアター秋」

日時：2026年8月22日（土）10:00～11:30

解説：日下 稜（当館学芸員）

講座「チュクチの海獣狩猟」

日時：2026年8月29日（土）10:00～11:30

講師：池谷和信氏（国立民族学博物館名誉教授）

講座「北海道博物館紀行 士別市立博物館」

日時：2026年9月5日（土）10:00～11:30

講師：中村圭佑氏（士別市立博物館学芸員）

INFORMATION

行事報告

イベントなど

◆ 4月25日（土）～5月17日（日）、ロビー展「Innovate MUSEUM事業成果写真展—文化財写真の可能性」を開催しました。本展では、オホーツクミュージアムえさし、釧路市立美術館、士別市立博物館、東京大学大学院人文社会系研究科付属北海文化研究常呂実習施設・常呂資料陳列館が所蔵する民族・考古資料や絵画、写真原板などを、高精細デジタル画像にするプロジェクトの成果の一部を、写真展として紹介したものです。



展示会場の様子

◆ 5月3日（日・祝）～5日（火・祝）にかけてゴールデンウィークイベントが開催されました。毎年恒例となっている参加無料のものづくりコーナーでは「革のキーホルダーづくり」と「革

フレームのミラーづくり」を実施しました。どちらもたくさんの方に参加いただき、盛況のうちに幕を閉じました。



いい思い出になったかな？

◆ 5月17日（日）、文化財写真の専門家である城野誠治氏（合同会社 文化財イメージング、当館研究協力員）を講師として招き、「文化財写真研修会」を実施しました。撮影する際に重要なライティングの技術など、文化財写真のいろはを学びました。



非常に実践的な研修会でした

はくぶつかんクラブ

◆ 4月18日（土）、はくぶつかんクラブ「まが玉づくり」（講師：小西智恵解説員）を開催しました。

◆ 5月23日（土）、はくぶつかんクラブ「フェルト動物とフェルトボールでつくるサンキャッチャー」（講師：石原生久代解説員）を開催しました。



上手にできました！

北方民族博物館だより No.141

令和8年（2026年）6月19日発行
編集・発行 北海道立北方民族博物館
〒093-0042 北海道網走市字潮見309-1
Tel 0152-45-3888 Fax 0152-45-3889
e-mail: tonakai@hoppohm.org
https://hoppohm.org
指定管理者
一般財団法人北方文化振興協会